



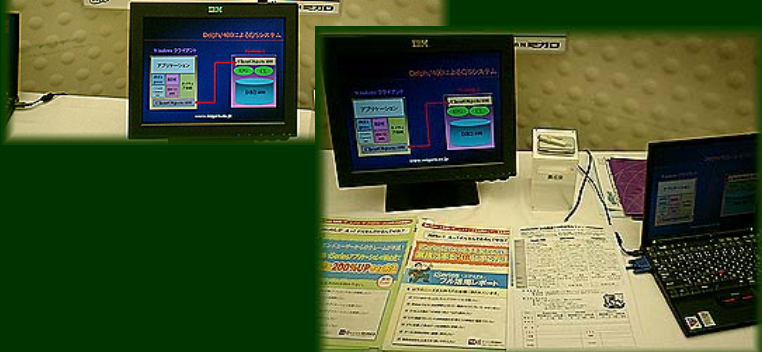
関西UOSフェア-2007

ミガロ参上！

桐、ベトナムへ



我らがミガロブースの様子



9月14日(火)日本IBM株式会社大阪事業所にて関西UOSイノベーションフェア2007が開催されました。目標来場者数200名に対し、結果217名のお客様にご来場いただき大盛況となりました。ミガロブースにも16社17名の方にお立ち寄りいただき、ありがとうございました。参加された石橋さんは思っていたよりミガロの知名度は高いと感じられたようです。

それにしても暑かった…。と石橋さん



お客様も興味津々のご様子



SystemObjectsのVさん。趣味のベトナム琴新調のため、日本産の桐が必要になった。上甲社長のもとに相談のメールが届いてから半月が経過した9月25日、ついに桐はミガロからベトナムへ向けて送られた。今回は実際に桐を手配された藤原さんのお話から、この裏側を解き明かさせていただきます！

MIGZINE岩田(以下M): ついに桐がベトナムへ向けて旅立ちましたね。9月25日はどんな気持ちで配達の方に手渡されたんでしょうか？

藤原さん(以下F): やっと送り出すことが出来たなと思いました。依頼をもらったのが9月11日なので、たった半月しか経っていませんがすごく長く感じました。



「fragile」

これは日本で言う「割れ物注意」になるそうです。無事にベトナムに届いてほしい気持ちを込めて。

M: 入手まで様々なところに電話を掛けられたと聞いています。

F: 最初に思い浮かんだのがホームセンターでした。なのでコーナンとロイヤルセンターに掛けました。

M: 反応はいかがでした？

F: 色々調べてくれましたが、どこも在庫がないとか、取り扱っていないと言われました。

注文したら入手できる場所もありましたが、1000円とか2000円とかいう値段でびっくり安かったですよ。

せっかく日本の桐を求めておられるので、品質のいいものをお届けしたいと思いました。

日本産でも、桐は木目が詰まっているのいいそうなので。

M: 藤原さんが掲載された掲示板にも載っていましたが、Vさんはどうして日本の桐を選ばれたのですか？

F: Vさんの先生であり、琴作りの職人の方が日本の桐をお勧めされたみたいです。

そこでまず、日本の琴の産地が福山(広島)であることを調べました。

F: 問い合わせで取り扱っている会社を探したんですが、電話が繋がらなかった。他のところも種類に制限があったり、入手できませんでした。

M: 全部で何社ぐらい問合せられたんですか？

F: 10社ぐらいだと思います。

それでも条件に合ったようなものを入手できる場所は結局1社しかありませんでした。

M: 苦労の甲斐あってようやく日本の桐が入手できたわけですね。今はほっとされてるんじゃないでしょうか？

F: あの桐でよいか返答がきていないのでまだちょっとドキドキしています。

余談ですが、職人のVさんの先生は90歳なんです。なんか日本のテレビにも出演したことがあり、琴を演奏されたことがあるそうですよ。

M: ええ！それはすごいですね。いい琴が出来るといいですね！！是非完成品が見たいものです！

F: Vさんが演奏したものを録音して送ってくださるそうですよ！

M: それも楽しみです。是非社内の皆さんにも聞かせてください！！

それでは、いい琴が出来ることを祈っております！

F: ご協力してくださった皆様ありがとうございました！！



東京タワーピンクバージョン！？
十月一日、東京事業所前に突如ピンク色の東京タワーが出現！東京事業所では、時撮影会が行われた。(笑)
これは毎年恒例となった「秋丸」早期発見啓発キャンペーンの一環だそうです。

～復活！社員特集～ もっと知りたい、キミのこと♡『青木さん編』

今回、「ミガロ報」大人気企画の社員特集を「MIGZINE」でも受け継ぎました。今期もたくさんミガロ社員が増えました。ミガロ社員の一員として、この機会に社員のみなさんにもっと自分を知ってもらいましょう！ということで栄えある復活第1弾のゲストは青木さんです。

MIGZINE松村(以下M)「本日は記念すべき『復活！社員特集第1弾』にご協力ありがとうございます。」

青木さん(以下A)「いえいえ。」

M「復活第1弾に選ばれた率直なご感想をどうぞ！」

A「なんか大阪本社から開催されるのが普通かと思ったんですが。」

M「それが我々流ってことで。ではお時間の関係もありますので早速ですが、復活！定番質問！！『もしも無人島に暮らすことになったらこれだけはもっていくぞという持ち物は！？』」

A「なんだろう～。無人島ね～。楽器、電子ピアノかな。」

M「えっ、電気ないですよ！？」

A「じゃあ普通のピアノでいいや。」

M「なんでピアノを選んだんですか？」

A「暇つぶしできるから。本だと飽きちゃうし。」

M「ピアノ弾けるんですか！？」

A「クラシックを小学生のときに習ってたよ。今は全然だけど。」

M「なるほど！じゃあピアニストですねっ！（古っ）」

M「ではここからは事前にお聞きしていたことについて少し質問させていただきます。まず青木さんの現在の『趣味』ということで、合唱団に入られているそうですね。」

A「そうなんですよ。」

M「合唱はいつ頃から始められたんですか？」

A「んとね～子供のころやって本格格的にやったのは大学生のときかな。それから遠ざかって3年前ぐらいからまたやっています。」

M「へ～、結構やってらっしゃるんですね。そういえば、奥様とも合唱つながりでお知り合われたんですね？」

A「まあそうです。」

M「恋のハーモニーですね！」

A「(合唱のとき)うるさいとよく言われます。周りの声を聞いて協調しなさいと。」

M「ははは。じゃあカラオケとかも好きなんですか？あっ、でも奥様はカラオケがあまり好きじゃないようで、一緒に行かれないんですね？」

A「そうです。というか身内と行くのが恥ずかしいようです。」

M「では今度あやしげなスナックでも行って歌いましょう！」

A「そうですね。」

M「だいぶ期待して待ってます。また昔の趣味ということで他にもたくさん挙げてくださいなんですが、それらは現在されていないんですか？」

A「機会があればしたいです。」

M「でもついこの間N.Y.にいかれてましたよね？いろいろ海外に行かれたかと思いますがどの国が一番でしたか？」

A「15カ国ぐらいは行ったと思うけど良かったのはスペインとタイかな。」

M「海外は人がおもしろいですよね。僕もタイ行きましたよ～。また事前に『宝物』についても伺ったと思うんですが、回答は確か『あまり物への執着心がないのですが。』「妻」では答えにならないので、「妻から貰った腕時計」としておきます。』でしたよね？」

A「はい。」

M「噂には聞いていましたが『愛妻家』なんですね～。」

A「ええ！愛妻と言うか新婚だからだよ。」

M「こないだも奥様が鍵を忘れて家に入れないときに飛んで帰ってあげてましたもんね。ちなみにその腕時計って今日されてます？おお！では一枚お願いします。(パチリ☆)」

青木さんの宝物♪

M「それでは最後に心理テストのコーナー！！！」

A「そういうの嫌いなんだよな～。」

M「まあまあそう言わず。やってみれば結構おもしろいと思いますんでやってみましょう！それでは第1問！『あなたが演奏するなら次の4つのうちの楽器を演奏したいですか？』Aトランペット Bドラム Cトライアングル Dハーブ。」

A「じゃあB。」

M「このテストでは自我の強さがわかります。Bのドラムを選んだ青木さんはもともと目立ちたがり願望がある人です。しかしグループで行動するときをぐっと抑える事も出来ます。ただそのときの気分によって変わるので、周りの人からは理解しにくい人と思われるかもしれません。あたってますか？」

A「まああたってるとかも。」

M「ではでは第2問いきましょ！『七夕の夜、あなたは短冊に願い事を書きました。さてその短冊の色は？』Aピンク B青 C金色 D紫。」

A「Bの青で。」

M「このテストでは今あなたに足りないものを象徴しています。つまり悩みがわかります。Bの青を選んだ青木さんの悩みは仕事上の悩みです。仕事でストレスの溜めすぎに気をつけてくださいね。」

A「ははは、わかりました。」

M「ファイナル問題です！『想像してください。あなたは今電車の中です。向かいに座っている若い女性が本を読んでいます。そのブックカバーの色は！？』つてまた色の問題かあい！すいません。私の質問選択が悪かったですね…。まあせっかくなのでA黄 B茶 C赤 D緑。」

A「Aの黄色。」

M「ファイナルアンサー？(古っ)」

A「ファイナルアンサー。(しかしのってくれる優しい青木さん)」

M「このテストでは今あなたを夢中にさせるものがわかります。Aの黄色を選んだ青木さんが今夢中なのは食べることです！もともと食べるのが好きなのですが最近特に拍車がかかっています。まあ食欲の秋ですもんね。」

A「さっきもおかき食べました。」

M「そういえば最近よくおやつ食べられてますよね！？」

A「そうだね。あてられちゃったな～。」

M「あはは！あたってしまいました。」

M「インタビューは以上になります。本日は青木さんのことをもっとよく知れるいい機会をありがとうございました！！」

やっぱり青木さんっていい人だな～



仕事中禁止! ? Delphi裏技!

~Delphiでシューティングゲームを試してみよう~

隠しコマンドによって様々なイベントが起こります。これはイースターエッグと言われ、Delphiだけでなく、様々なツールに組み込まれているそうです。開発者の遊び心が見え隠れします。それではゲーム開始!!



※Delphi 2005・2006で動作確認しております。他のバージョンではスタッフロールのみ。

はじめ方

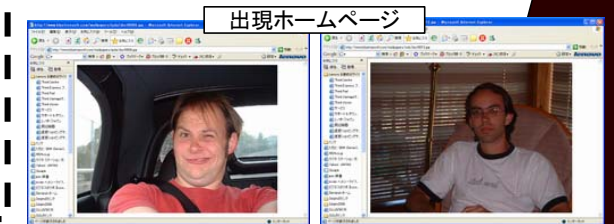
- ①Delphi起動後、ツールバーのヘルプ(H)よりDelphiのバージョン情報を表示します。
- ②Altキーを押しながら、'TEAM'と順番に押すと左画面のような「Borland Rules!」と画面いっぱいに表示されますので、そこで5秒間待ちます。
- ③すると、画面左下に「Team」というボタンが出現! スタートボタンの登場です!!

お遊び方

「Team」ボタンを押せばゲームがスタートします。画面が少し暗くなり、開発チームメンバーの名前と思われる文字が上部からスクロール!! そして右上には、「スコア」の表示が出現、ここにあなたの点数が加算されていきます。あとは卵を発射してこの文字を打ち落としていただけ!!

【キー説明】
アイコンを動かすキー:「←」「→」
卵を発射するキー:「スペース(入力モードは半角で!)」

あるタイミングで、ゲーム中開発者の写真(右に記載)などのホームページが自動で表示されます! 皆さんも試してみてもは! ?



VQ速報!

パッケージに込められた想い

MIGZINE松村(以下M): 本日はお忙しい中インタビューにご協力してくださってありがとうございます。それでは、よろしくお祈りします。



川合さん(以下K): よろしくお祈りします。

M: VQのパッケージを川合さんが作成されたということで話をお伺いしたいと思います。まずVQの最初イメージはどのように産み出されたのでしょうか? 当初はチラシからイメージしていった、と前にお伺いしましたが?

K: 最初に大阪から案としてイメージを頂いていました。それを改良してほしい、という依頼があったのでそれを基に作成をしました。またチラシも参考にさせて頂きました。

M: オレンジが使われたのはなぜですか?

K: それも大阪から送ってもらったパッケージの色(オレンジ)を基にしています。なので、色は変えずに作成しました。

M: 前回のVQ対談で岩井主任、福井主任のインタビューの際に「Queryだからきゅうり色! ?」というお話がありました。本当ですか? また余談ですが、お客様のところへお伺いしたときにお客様ははじめQueryが「きゅうりきゅうり」って聞こえました。」と仰られてました。(笑)

K: 実際の所Queryだから「きゅうり色」って訳ではないですね。実際に緑にしたのは、何かか試した結果オレンジに映えるのが緑だったからです。きゅうりっていうのは後付けですよ、きっと。

M: あの玉ころみたいのは何のイメージなんですか? 以前緑川主任は「QUERYだから球(り)体じゃないの?(笑)」という風に仰られてましたが。(笑)

K: デザイン部分に関しても最初にデザインしていたものがあつたのですが、それがボツになりまして、何か動きのあるものを作ろうと思ったときに試行錯誤した結果「球」になりました。5250画面が堅苦しい、難しいといったイメージがあつたのでそれを「まるくする!」「ソフトに!」という事で「球」にしました。

M: 前にお客様の所へ納品後お伺いしたときに、オレンジ色のパッケージが2つあつたので、VQを2つ送ってしまったのかと思いました。正体はUpdateObjects/400でした。VQとUDのパッケージって同系色なのですね。そこでなにかVQとUDの違いのこだわりとかありますか?

K: Delphi/400やJACi400のパッケージは何度か見ていて、どんなデザインかは知っていたのですが、正直のところUDのパッケージっていうのをみたことがないんですよ。後で見ると色ががぶっちゃってましたね。(笑) UDのパッケージよりは色数を多く使っているの、UDよりは目立つかなとは思っています。

M: 色とりどりの感じですよ。それでは次の質問です。VQが発売されてどのような心境ですか? 前の対談(岩井主任、福井主任の時)では娘、息子を送り出す気持ちですというふうには仰られてましたが、川合さんはいかがですか?

K: 私も似たような気分です。自分の分身とかやはり娘、息子というような気持ちですね。製品開発などには携わっていませんが、何だか自分が評価されているような感じがします。(笑)

M: パッケージに関しては割とシンプルな感じですよ。もう丸! って感じで。

K: 必要なものだけがお客様の目に入るようにあまりごちゃごちゃしないようにしました。

M: シンプルイズベストです。それじゃ写真撮影いきますか。そうだ! パッケージとか今ありますか? (笑)

K: ちょっと今手元にはないですね。(笑)

M: ここに来ての準備ミスです...

本日は貴重なお時間をありがとうございました。私が想像していた語呂合わせのようなものは実はあまりなかったんですね。本日はありがとうございました。

K: ありがとうございました。



「頼むから死刑にしてくれ」
 ビートたけしが警察に捕まったとき、母「さき」はこう言ったという。
 こんな毒舌だけど本当にやさしい母と、酒を飲まないと言いたいことを何一ついえないという父「菊次郎」について綴った作品。
 ビートたけしの人のあったかさが見える本。

「菊次郎とさき ビートたけし著」

読書の秋

「ステップファザー・ステップ
 宮部みゆき著」

泥棒が忍び込もうとした家には、中学生の双子の男の子達がいた。不覚にも指紋をとられた泥棒は、親が不在の双子達のステップファザー（継父）をしぶしぶすることとなる。
 といったありえない設定ですが、双子達の会話が面白い形で繰り広げられ、心温まるタッチの作品です。



松村オススメ

～10分前行動を心がけよう～

社会人の心得の一つとして挙げられる「10分前行動」…決められた時間や期間は守って当たり前。決まっていることは、キチンと守る事が最低限のルールです。もし、何らかの理由があって、それに遅れてしまう場合は、事前にその旨を伝達する必要があります。何の連絡もなく遅れることは、社会人としてルール違反です。
 時間ギリギリまでの予定で行動していたのでは、決められた時間に間に合わなくなってしまいます。できるだけ余裕をもって仕事を進めらるるよう常に10分前行動を心がけたいものです。

たとえば、出勤時間についてはどうでしょうか？
「遅刻しないで出勤していれば、ギリギリだって問題ないんじゃない？」と思う人もいるでしょう。
 しかし、一日の始まりは、何があるかわかりません。時間ギリギリに出勤し、心にゆとりがないまま、慌てて仕事を始めたのでは、ミスにつながってしまうことも考えられます。早めに出動し、手際よく準備をする。**これが、基本です。**

ゆとりある段取りに、前準備。
 それが、仕事の成果につながるのではないのでしょうか？！
 皆さんも今一度、10分前行動を見つめ直し、ゆとりを持って仕事に取り組み「5分前完了♪」を目指しましょう！！

☆☆マナー向上委員会トピック☆☆

慌てず、騒がず……心に ゆとり三カ条！じゃ♪

- その1. 笑顔を意識！
 → 人体の不思議♪心に余裕が出るものじゃわい。
- その2. 「60分単位」でスケジュールを立てる！
 → いつからいつまでは、何をするのか。明確化することで進捗確認や早い段階でのスケジュール再調整も可能じゃ。
- その3. 一人で悩まない！
 → 「三人寄れば文殊の知恵」周りの人からの意見を聞くことによって、新しい展開が見えるぞ。



編集・発行



株式会社ミガロ

大阪市浪速区湊町2-1-57 難波サンケイビル13F
 TEL: 06-6631-8601 URL: <http://www.migaro.co.jp/>
 編集長: 松村 秀男 副編集長: 岩田 真和
 ※ご意見ご要望は <hmatsumura@migaro.co.jp> まで。
 記事掲載のご希望や、リクエストもお待ちしております！

MIGZINEは
 毎月15日発行です。
 次号もお楽しみに！！



社内報チームのつぶやき

■松村編集長
 最近減酒ならぬ”減ビール”しています。グルメツアーではいっぱい飲んでしまいましたが、それはノーカウントで。

■岩田副編集長
 本を買っても読まずに放置しているものが沢山あります。せっかくの秋ですし、消化していこうかなあ。

■畑中アドバイザー

「そうだ、京都行こっ！」

■宮坂アドバイザー

第3回ミガロ杯が10月28日に行われます。前よりもいいスコアを出す為にがんばって練習します。

ミニトピ♪ 第3回グルメツアー開催！



タイ料理に舌鼓！



こんな料理を食べました♪ 辛そう…

10月10日に今回で第3回をむかえる東京グルメツアーが開催されました。今回は目黒にあります『ゲウチャイ』というタイ料理屋さんでの開催となりました。
 「辛〜！」との声も飛びかかっておりましたが、とてもおいしかったです。青木さんの情報では近くにあるタイ領事館の方も利用されるお店だそうです。今回は山本部長、尾崎課長にも参加していただき、盛大なグルメツアーとなりました。



上甲社長の脚

編集部あとがき

いつも『MIGZINE』をご愛読いただきありがとうございます！！
 創刊時は暑かった日々も、すっかり季節が変わって涼しくなりました。とても早く感じます。今回は要望の多かったあの社員特集が復活！内容はいかがでしたか？他の記事も楽しめましたでしょうか？
 リクエスト・感想いつでも歓迎です。メールお待ちしております。

また今回も多くの社員の方にご協力をいただきました。この場を借りてお礼申し上げます。今後ともMIGZINEにご協力、ならびに応援よろしくお願い致します。

MIGZINE を社外へ
 松村編集長 岩田副編集長
 私たちはやります！社内報から社外報へ。2008年1月に社外報を発行します！！